

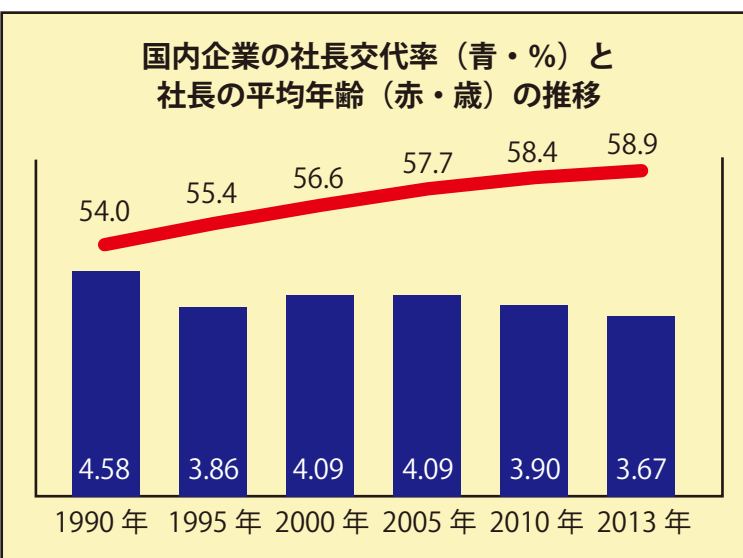


地元力財団

あなたの「ほっとけない」が見つかる これからの社会貢献 100

地元をよくするために、私たちは何をすべきなのでしょう。地元をよくするために何かしたいけど何をすれば良いのか分からないというあなたに向けて、あなたの地元、ここ和歌山の地域課題をデータを用いて見える化していきます。毎回異なるテーマ(分野)を取り上げ、地元の課題を端的に表すデータをご紹介します。

何が課題? 数字でみる和歌山県



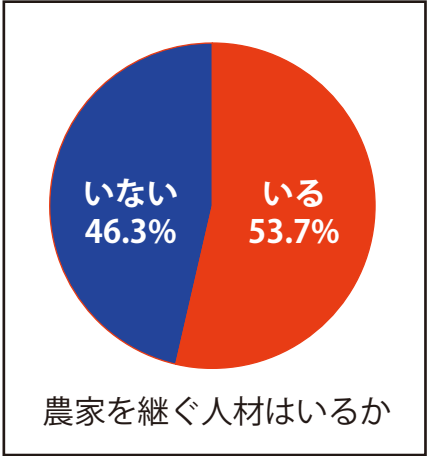
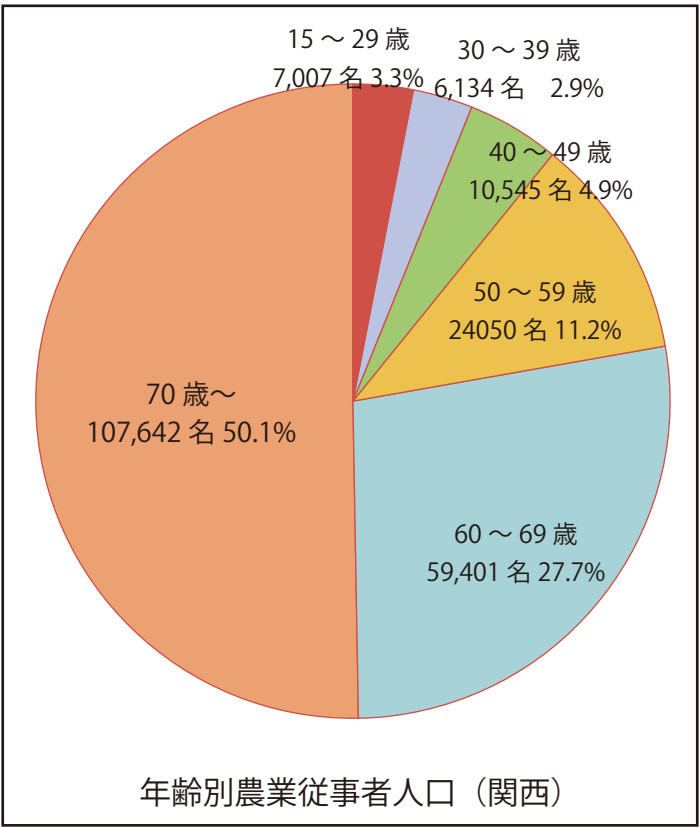
社長の平均年齢を見ると、これまで一貫して上昇し続けており、2013年には58.9歳と過去最高齢を更新するなど社長の高齢化が進んでいます。また、社長交代率(過去1年の間に社長の交代があった企業の比率)の推移を見ると、10年以降は低下傾向を示しており、13年は3.67%と

Theme4 地元産業の持続

社長も続々 高齢化!!
内閣府が発表した「2014年版高齢社会白書」によれば、日本の65歳以上の高齢者は過去最多の約3190万人で、高齢化率は25.1%と前年(24.1%)を1ポイント上回り、4人に1人が高齢者という時代になりました。このように高齢化が進むなかで産業においても高齢化が課題となっています。
社長の平均年齢を見ると、これまで一貫して上昇し続けており、2013年には58.9歳と過去最高齢を更新するなど社長の高齢化が進んでいます。また、社長交代率(過去1年の間に社長の交代があった企業の比率)の推移を見ると、10年以降は低下傾向を示しており、13年は3.67%と

農業も危ない
経営者が高齢化しているのはなにも中小企業に限ったことではありません。農業など第一次産業の担い手もまた高齢化しています。近畿では70歳以上の農業従事者が10万人あまりで農業従事者全体の50.1%を占めています。60~69歳の農業従事者は約6万人で27.7%。全体の77.8%が60歳以上、と

となつていきます。これらの中小企業の中には高度な技術や独自のノウハウを蓄積している企業も多く、このような企業の事業が継続されるということは、産業全体にとって重要なことです。また、これらの地元企業が雇用を創出しており、事業の継続が危ぶまれるということは、雇用の機会を喪失するということにつながります。地元にとっても重要な課題です。



Editor's Voice

地元力財団では「地元に対する想いを寄付に託す」という新しい寄付の「カタチ」を提案しています。寄付はもちろん、明日からできる「あなたらしい」社会貢献のカタチを紙面で紹介してきました。当財団では「社会貢献支援相談窓口」を開設し、個人や団体、企業のみならずの地元に対する想いをカタチにしていくお手伝いをしたいと考えています。

また、昨今の社会貢献意識の高まりを受け、遺産を地元のために活かしてほしいという声やニーズはますます高まってきています。地元の課題が多種多様になるなか、それらの声に応える新しい仕組みが求められています。
公益財団法人わかやま地元力応援基金では、「遺産を地元のために提供したい、寄付したい、活用してほしい」という想いと、大切な遺産を地元の市民公益活動団体へとつなぎ、活用していくための相談を受け付けています。

■お問い合わせ先
公益財団法人わかやま地元力応援基金「これからの社会貢献100」係(担当:酒井)
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-428-0011 FAX 073-428-0012
E-mail info@jimotofund.jp

Case Study 地場産業を守る取り組みから

今回は「地元産業の持続」について取り上げました。和歌山には様々な産業がありますが、ここで紹介するのは梅酒や日本酒などの地酒にまつわるお話です。
◆ ◆ ◆
2013年のことですが、和歌山大学観光学部的女子学生でつくるサークル「梅酒研究所」が、海南市の酒造会社「中野 BC」と共同で「二十歳になる女の子に贈りたい梅酒」を開発しました。
商品の名称は「blossom(ブロッサム)~さくら梅酒」。
味や色合い、ボトルのデザインなど女子学生ならではのアイデアを多く盛り込まれています。このように地元で学ぶ若者が地

元の産業に関わり、商品開発のスキルを身につけることができました。このようなことの繰り返しのなかで事業を後継していく人材が育つのではないのでしょうか。
◆ ◆ ◆
私たちにできることは、地元で作られている物を積極的に使っていくことで地元の産業を盛り上げること。
例えば、和歌山市、海南市、田辺市ではいわゆる「地酒で乾杯条例」(田辺市は「梅酒で乾杯」)が制定され、地酒・梅酒の普及に努めています。まずは、こうした取り組みに協力することが、地元産業を守っていくためにこれからでもすぐにできることですね。

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- ママ目線の防災座談会
防災講座と「ママ目線」を取り入れた防災・減災について話し合う防災座談会。
日時 9月9日(火) 9:30~12:00
場所 和歌山県男女参画センター1階(和歌山ビッグ愛)
講師 防災マッププロジェクトのみなさん
内容 簡易トイレや食品備蓄などの講座と、防災座談会。災害時の不安や心配なことを出し合い、一緒に考えます。
対象 子育て中の方
参加費 無料(申込み必要)
問い合わせ・申込み 和歌山県男女参画センター「りいぶる」(073-435-5245)
- ママ目線の防災座談会
参加費 2000円(材料費込み)
定員 8名(申込み必要)
申込み おしゃべり広場「ホッピング」(073-425-8789)
- チャリティ茶会
お点前で抹茶をいただくお茶席と、茶花をいけるデモンストラーションを楽しめます。
日時 9月14日(日) 10:00~16:00
場所 ホテルアパローム紀の国
参加費 500円
問い合わせ 和歌山文化協会茶道部(073-424-7675・永岡さん)
備考 9月7日には「観月茶会」を15時から19時まで開催。抹茶の振る舞いと名月への献花・献茶の実演あり。
- 名勝和歌の浦 観月会 竹燈夜 IN 妹背山
日時 9月14日(日) 18:00~20:00
場所 和歌浦・妹背山一帯
内容 妹背山周辺に約2000個の竹行燈が灯され、観海閣がライトアップされます。
参加費 無料
問い合わせ 玉津島保存会(073-447-2660・渋谷さん)
- チョコレートでイラストを描こう
A5サイズの黒板にパステルで食べ物や動物のイラストを描きます。絵の苦手な方でも塗り絵感覚で楽しめます。作品は持ち帰りOK。
日程 9月12日(金) 10:00~12:00
場所 おしゃべり広場「ホッピング」
講師 藪上陽子さん(日本チョコレート協会認定講師)